

罹災証明書交付申請書

村山市長 宛

令和 年 月 日

申請者 (世帯主)	住所
	電話番号
	(現在の連絡先) 同上 ・ 電話番号
	(ふりがな) 氏名

窓口に 来られた方 (申請者と 同じ場合は 記入不要)	住所
	電話番号
	(ふりがな) 氏名
	申請者との関係

被災住家の 世帯構成員	氏名	続柄	生年月日	性別	備考

罹災原因	の による被害
------	---------

被災住家 [※] の 所在地 (申請者住所と 同じ場合は 記入不要)	
---	--

※住家とは、現実に居住(世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。)のために使用している建物のことをいいます(被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家)。

住家の被害	<input type="checkbox"/> 浸水被害(<input type="checkbox"/> 床上 <input type="checkbox"/> 床下) <input type="checkbox"/> その他被害(以下に記入)

写真による 被害区分の 判定(※)	<input type="checkbox"/> 希望する(写真を添付) <input type="checkbox"/> 希望しない
-------------------------	--

※ 下記の場合には、現地調査を省略し、写真により被害区分を判定することが可能です。写真による判定を希望する場合は、「希望する」欄にチェックをしてください。

- ・地震による被害を受けた住家の写真から「全壊」と判定できる場合
- ・水害による被害を受けた住家の写真から浸水深が確認できる場合
- ・申請者の合意に基づく自己判定方式による一部損壊の判定を行う場合
 (「全壊、大規模半壊、中規模半壊、半壊、準半壊、準半壊に至らない(一部損壊)」の6つの被害区分のうち、「準半壊に至らない(一部損壊)」の判定となります)

※ 添付された写真から被害の程度が判断できない場合には、必要に応じて現地調査を行うことがあります。写真による被害区分の判定を希望しない場合は、写真の添付は必須ではありません。

※本人若しくは同一世帯以外の方が申請者の場合は、下記委任状に記入してください。

委 任 状			
		令和	年 月 日
代理人の住所 _____			
代理人の氏名 _____			
私は、上記の者を代理人と定め、罹災証明書・被災届出証明書の交付申請に関する権限を委任します。			
		住所	
委任者 (罹災者)		_____	
		氏名	印

<罹災証明書について>

- ・本市で発生した災害により被害を受けた「住家」について「被害の程度」を証明するものです。
- ・被害状況箇所のわかる写真の添付をお願いします。
- ・写真で判定できない場合は、現地確認を行います。ご協力をお願いします。

<被害の状況欄について>

- ※被害の事実だけを簡条書きに記入してください。
 例：風で瓦が飛んだ。1階の床上まで浸水した。北側の壁に亀裂が発生。車が水没した。
- ※人名（個人名又は個人（法人）を特定する内容）は記入しないでください。
- ※被害の事実以外のことは、証明できません。